

名古屋研修センター・大分建設センター完成 ～ 「NS スーパーフレーム工法[®]」で建設し ZEB を達成 ～

昨年度、「名古屋研修センター」と「大分建設センター」が完成いたしました。

いずれの建築物も共に、高い断熱性能と、省エネルギー性能を合わせ持つ ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の性能を保有するカーボンニュートラルの時代に向けた先進的な施設です。

名古屋研修センターでは、高断熱・省エネルギー性能に加え、太陽光発電設備による「創エネ」と蓄電池設備による「蓄エネ」を設置することで、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることを目指した ZEB の中でも最高ランクの『ZEB』の評価を受けております。

大分建設センターでの断熱性能・省エネルギー性能は、名古屋研修センターと同等ですが、太陽光発電設備を設置しない ZEB Ready の評価を受けています。

当社は ZEB 施設を保有するオーナーとして ZEB リーディングオーナーに登録しています。

本案件は、当社初の『ZEB』化を実現した建物であり、今後も、ZEB/ZEH-M 化を NS スーパーフレーム工法[®]の強みの一つとして、拡販を進めていきます。

※「NS スーパーフレーム工法[®]」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。



名古屋研修センター 完成写真



大分建設センター 完成写真

ZEB

Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目指した建物です。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることは出来ませんが、省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量の正味(ネット)でゼロにすることが出来ます。

ZEBには、太陽光発電等の創エネルギーの割合によって3種類のグレードがあります。

(『ZEB』:100%以上の創エネ、 NearlyZEB:100%未満の創エネ、 ZEB Ready:創エネ設備なし)

ZEBリーディングオーナー

一般社団法人 環境共創イニシアティブ(SII)が公募する認定制度。本事業の趣旨ならびに、「ZEBロードマップ」の意義に基づき、ZEB普及目標やZEB導入計画、ZEB導入実績を一般に公開する先導的建築物のオーナーのこと。